

北島町立図書館創世ホール開館二十周年記念公演
森優子朗読ライブ特別篇

題字 水野裕子

太陽と月の朗読会

美しい物語り、美しい朗読、
美しい舞台・・・
今、日本で一番美しい
朗読舞台を徳島で

夏目漱石原作
夢十夜より第一夜
アンデルセン原作
絵のない絵本より
太宰治原作
走れメロス ほか

朗読 森優子
(2007年国民文化祭語りの名人芸出演)

照明 佐野倫太郎
(2012年日本照明家協会協会新人賞受賞)

脚本・構成 鈴木之彦
(2007年国民文化祭語りの名人芸構成・脚本)

2014年7月6日(日)

北島町立図書館 創世ホール

開場 14時00分 開演 14時30分

前売 1800円 当日 2300円

(当日子ども無料券付きチケットの販売あります詳しくは裏面を)
(公演収益金の一部を東日本大震災の義援金に寄付致します)

企画・制作 Office Y&Y

主催 徳島朗読舞台実行委員会

共催 北島町立図書館創世ホール

(株)ライティングセンター久米

後援 東京労音 徳島新聞 四国放送 株式会社あわわ

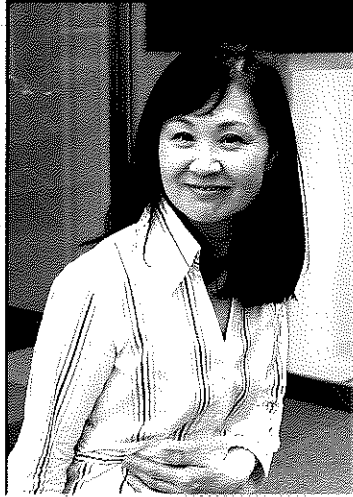


朗読 森優子

♪ 太陽と月をテーマに、様々な朗読作品を、映像・音楽・照明を駆使し、美しい一つの舞台に紡いで行く、新しい試みの朗読会です。

国民文化祭語りの名人芸出演の森優子、構成・脚本の鈴木之彦、照明には日本照明家協会新人賞の佐野倫太郎。今徳島で観られる朗読会の中で、最高のメンバーが贈る、大人から子どもまで楽しめる朗読会です。

[朗読 森優子(もりゆうこ)]



徳島市出身。舞台朗読家・フリーアナウンサー。その美しい響きの朗読は多方面から高い評価を受けている。女優「丸山由利亚」に師事、主催する「語りと音楽の会」に入会し舞台朗読を学び、各公演に参加する。2002年よりOffice Y&Yにて様々な朗読舞台で活躍。2007年10月、徳島国民文化祭「語りの名人芸」に出演、瀬戸内寂聴原作の「源氏物語・藤壺」を本人の前で朗読し絶賛される。2009年には瀬戸内寂聴記念館での太宰治生誕百年記念の朗読会を任せ2日間6作品を朗読する。また2012年の国民文化祭では、三人使い人形と音楽と朗読のコラボレーション舞台『新釈・姥捨山』で朗読の新しい可能性を示す。また徳島では不定期に朗読ワークショップを開き、丸山由利亚より受け継がれた美しい朗読の普及に努めている。

[脚本・構成・映像 鈴木 之彦(すずきゆきひこ)]

千葉県松戸市出身。フリーカメラマン。日本で唯一人の朗読専門の脚本・構成。舞台映像・音楽を一人でこなせるマルチな一面もある。森優子氏と創り上げる、美しさにこだわった朗読舞台には定評があり、特に朗読芝居・小泉八雲『怪談』は10年のロングラン公演を続けており、夏場限定にかかわらず、総観客数は3000人を超える動員を得ている。2002年より舞台朗読家の森優子氏とOffice Y&Yを立ち上げ、朗読舞台の脚本・構成を務める。2007年国民文化祭「語りの名人芸」にて瀬戸内寂聴氏の源氏物語「藤壺」を脚本・構成し瀬戸内氏から絶賛される。森優子朗読ライブをはじめ、20人から1200人までの公演を変らぬクオリティーを保ちながら朗読舞台を創り続けている。今回の舞台には、朗読会としては日本初の試みに、並々ならぬ心血をそそいでいる。

[照明効果 佐野 倫太郎(さのりんたろう)]

1981年生まれ、鳴門市出身。現在ライティングセンター久米社長。大学時代にアルバイトでライティングセンター久米にて舞台照明と出会い興味を持つ。卒業後入社、久米市郎に師事し本格的な照明を学ぶ。現在徳島市立文化センターを始め、アスティ徳島、各方面にオペレーターとして活動、大小の催しを問わず、その舞台に合ったきめの細かい照明をする事で信頼を集めている現在徳島若手照明家のホープである。2009年あわぎんホールで行われたOffice Y&Y企画「朗読活劇・江戸川乱歩」に参加し、森・鈴木両名に出会う。2011年北島町立創世ホールで行われた、朗読芝居・小泉八雲『怪談』徳島特別公演では2012年度日本照明家協会協会新人賞を受賞。徳島での森優子朗読ライブも含め朗読舞台実行委員会主催の舞台にはなくてはならない存在になっている。

[お問合せ・お申し込み]

TEL 088-698-1100

北島町立図書館創世ホール または

TEL&FAX 088-645-2817 杉本 迄

shoko_2005_sugimoto@ybb.ne.jp 迄

※当日開演1時間前より、子ども無料入場券(1名分)付きのチケットを先着50名様分大人1名分1800円で販売致します。小学校3年生～中学生対象です。

